



# カリオン

Vol. 21



2013年12月

発行 姫路赤十字看護専門学校  
発行責任者 学校長 佐藤四三  
編集責任者 事務部長 船曳健次  
〒670-0063 姫路市下手野1-12-2  
TEL/FAX 079(299)0052(直通)

## 第115回生 嶽かに戴帽



平成25年10月30日、姫路赤十字看護専門学校第115回生40名(男子学生2名を含む)の戴帽式が嶽かにおこなわれました。

昨年竣工した管理棟の大会議室でおこなう初めての戴帽式であり、会場設定や並び方など学生と意見を交わしながら作り上げていきました。

赤十字のマークの入った真っ白なキャップを戴き、キャンドルの灯りに照らされた学生の姿はとても凛々しく、看護学生としての自覚と誇りを一層強めているようでした。

学生たちの“看護師になりたい”という夢を実現させるために、今後も彼女(彼)たちを支えていきたいと思います。

(教務助手：中島 啓子)

### 後期行事予定 (平成25年10月～平成26年3月)

**10月** 1日(火) 後期授業開始

8日(火) クラスⅠ・Ⅱ トレーニングセンター

25日(金) クラスⅢ発表・クラスⅡ聴講 関西看護学生看護研究大会

30日(水) クラスⅠ 戴帽式

**11月** 9日(土) 平成26年度社会人入学試験

**12月** 25日(水)～1月6日(月) 冬季休業

**1月** 22日(水)・23日(木) 平成26年度一般入学試験

**2月** 16日(日) 第103回看護師国家試験

17日(月)～クラスⅡ 領域別実習開始

**3月** 5日(水) 卒業を祝う会

7日(金) クラスⅢ 卒業式

20日(木)～4月3日(木) 春季休業

25日(火) 国家試験合格発表

### 姫路赤十字看護専門学校教育理念

本校は、赤十字の基本理念「人道」を看護実践で具現化する看護師を育成することを使命とする。看護は人間の健康生活にかかるケアリングである。本校では、対象者と学生、ならびに学生と教員間のケアリングを目指してリフレクションを教育の基調とする。

#### 【教育目標】

- 1)人道(ヒューマニティ)を基盤とする赤十字の思想に基づき、人間の生命と健康を守り、苦痛を予防・軽減し、尊厳を確保できる豊かな人間性を養う。
- 2)人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を養う。
- 3)人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境とダイナミックな相互作用等の観点から理解する能力を養う。



- 4)赤十字の基本原則を基盤とする看護専門職業人としての職業倫理観をもち、看護を実践できるとともに、最新知識・技術を自ら学び続ける基礎的能力を養う。
- 5)人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- 6)健康的保持増進、疾病予防と治療、リハビリテーション、終末期など、健康や障害の状態に応じた看護を実践するための基礎的能力を養う。
- 7)看護の実践は「安全」で「安楽」を第一義とし、医療事故を未然に防止できる能力を養う。
- 8)保健・医療・福祉制度と他職種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともに、人々が社会的資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- 9)赤十字の諸活動に興味関心を持ち、将来、赤十字の理念のもとに活動する看護師として国内外で活躍できる基礎的能力を養う。

2009年4月 改訂

# 看護の心をのせて



## 誓いの言葉

私達115回生は、本日こうして戴帽式を迎えることができました。看護師への第1歩を踏み出すことへの喜びと誇りを抱くと同時に、自覚と責任をより一層感じています。

私達は、生きる喜びや働くことの意義を一人一人考え、生命(いのち)と真っ直ぐに向き合い、思いやりの心と優しい笑顔で患者さんの心に寄り添います。

私たちを支えてくださっているすべての人々へ感謝でいっぱいです。

クラスの意見を1つにすることもできませんでした。しかし、何度もクラス会議をもうけ自己を見つめなおし、互いに成長できたと思います。

これからも同じ夢を持った仲間と苦楽を共にしながら、知識や技術そして看護師としての志を学び、常に患者さんの一番近い存在として心からの笑顔に出会えるよう真摯に努めることを誓います。

平成25年10月30日 戴帽生代表

## 姫路赤十字看護専門学校同窓会便り

会員の皆様、お元気ですか。115回生の戴帽を祝し、戴帽生の胸元を飾る可憐なコサージュを同窓会から贈って頂きました。ありがとうございました。今後も戴帽生の成長を見守って下さい。



## 戴帽を祝う会



平成25年10月30日、115回生40名の戴帽を祝して「戴帽を祝う会」を開催しました。上級生が手作りの花のアーチや拍手で初めてナースキャップをつけた115回生を出迎え、お祝いの歌や言葉をプレゼントしました。また、日本音楽療法学会認定音楽療法士の村上純子先生により音楽療法についてご講演をして頂きました。音楽の講師である麥倉直子先生と村上先生とのコンサートも行われ、最後には「見上げてごらん夜の星を」を全員で合唱し、楽しいひと時を過ごしました。

(専任教師：中林 朝香)

# 戴帽式

10月30日(水)



## 1年生にむけて

1年生の皆さん戴帽おめでとうございます。ナースキャップを戴き、様々な思いが込み上げてきましたことだと思います。戴帽式で誓った決意を忘れず、クラスみんなで支えあって下さい。困ったり悩んだりした時はいつでも相談して下さいね。私たちは同じ目標を持った仲間です。いつも患者さんの立場になって考えられる看護師を目指して一緒に頑張りましょう。

(2年生一同)

戴帽を迎えた115回生の皆さんおめでとうございます。学校生活にはもう慣れましたか。これから専門分野の講義や基礎看護学の実習、様々な行事もあります。時間が過ぎるのはあっという間です。たくさんの体験をして一日一日を大切に充実した日々を送ってほしいです。私たち3年生もあと少しの学校生活ですが同じ目標に向かって頑張りましょう。

(3年生一同)

## これからの意気込み

ナースキャップを戴いたからには、それに見合うだけの自分になろうと思います。講義からいろいろ考え、積極的に行動していくことを思います。将来は療養生活でつらい思いをしている患者さんを笑顔にできる看護師になりたいです。

(クラス I)



あっという間に戴帽式という一つの節目がきました。ナースキャップを戴くということは、今まで以上に看護師になる者としての自覚と責任が高まりました。笑顔の絶えない看護師になるためにこれからも頑張っていきたいと思います。

(クラス I)

私は、人の役に立ちたくて看護師を志しました。将来、辛い状況に置かれている患者さんや家族の傍で「明日」への希望が与えられるように、また居心地の良い病棟でできるような看護師になるために、これから知識や技術を身に着けていきます。

(クラス I)

## 拝啓、お元気ですか。

～一人暮らしをしている学生からのメッセージ～

好評のため  
シリーズ化



始めは家事や一人といふ寂しさになかなか慣れませんでしたが、今ではその生活にも慣れ周りにいる素敵な友達のおかげで充実した日々を送っています。一人暮らしの友達と話しているときには家族の存在の大ささを改めて実感しています。家族のみんな、困ったことがあった時いつも姫路まで来てくれてありがとうございます。これからも頑張るので見守っていて下さい。

(クラス II)



お父さん、お母さん、私は体調も崩さず友達にも恵まれ元気に過ごしています。毎日の家事は大変で、一人ですることが多くなり、親のありがたみを感じています。以前よりは頼もしくなっているので正月楽しみにしていてね。

(クラス I)



一人暮らしを初めて約1年半が経ちました。家にいる間は早く一人暮らしがしたいと思っていたけど、今となっては実家が一番だと日々実感しています。学校

から帰るとご飯が用意されていて、その日学校であった出来事を話しながら家族でご飯を食べるということはとても幸せなことだと思います。時々、お母さんの作ったご飯が食べたいときがあります。また帰ったときに味付けの仕方を教えてもらおうと思います。

(クラス II)



一人暮らしを初めて3回目の冬がやってきます。始めは右も左もわからなかった姫路市ですが、院外実習で様々な施設へ行かせていただき随分詳しくなりました。実家からは食材などを送ってもらいとても助かっています。残り少ない学生生活ですが、食生活に気をつけて頑張ります。

(クラス III)

# 球技大会

9月6日(金) @姫路市中央体育館

Q. 委員長としての感想は？

A. 沢山反省する点はありますが、皆さんに球技を通してリフレッシュして頂けたようではよかったです。



Q. よかったこと、苦労したことなどは？

A. 計画的に準備を進めることが出来ず、委員にも皆さんにも迷惑をかけてしましました。委員長として頼りない私を支えてくれた委員のメンバーの優しさを感じ、本当に感謝しています。



Q. 来年の委員たちに向けてアドバイスなどがありましたら

A. 今年の反省を生かし自治会を中心に『伝達ファイル』を作成しました。これを元に前もって準備をして生徒みんなを巻き込んで「おもてなし」の心で良い球技大会にして下さい。わからないことがあつたら何でも聞いてね。

(クラス II 球技大会委員長)

## 生徒にインタビュー !!!



Q. 委員としての感想は？

A. 私たちが主体となるので、会場準備などを手伝ってもらえるとうれしいです。来年も良いものにしましょう。



Q. 大会の感想は？

A. 初めての球技大会でバドミントンをして楽しかったです。リフレッシュが出来ました。



Q. 今年はどうでしたか？

A. バレーにおいて、ルールや対戦の仕方など一部変更していくと戦相手がわかりやすくなり、試合がスムーズになってよかったです。

Q. 来年に向けて

A. 初めての球技大会で、戸惑ったこともありましたが、たくさんの人に支えられて良いものになりました。

(クラス I  
球技大会委員長)



Q. 交流はできた？

A. 先輩や先生、臨床の看護師さんと交流でき、いろいろなお話を聞けて充実していました。

(クラス I)

Q. 後輩へ一言

A. 慣れない進行で大変だったと思うけど委員のみんなで協力してスムーズに進行できるように頑張ってください。

(クラス III  
球技大会前委員長)

## 看護学生あるある☆

・親戚で集まると「看護学生でしょ？〇〇が痛いんだけど」と聞かれたり検査データを見せられる

・教科書類で鞄が重い

・覚えたての医療用語を日常会話で使いたがる

・課題が多くて、ない日には本當にないのかと不安になる

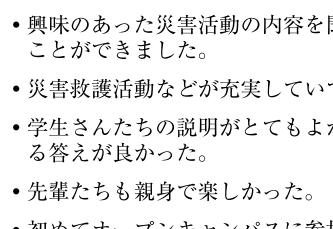
・予防接種は教務の先生方がしてくれる



## オープンキャンパス参加者の声☆



・みなさん気さくでぜひ入ってみたいと思いました。  
・にこにこ笑顔の学生さんに好感が持てました。親切にして下さってありがとうございました。  
・災害救助の実習の写真などを見て興味が湧きました。実習がたくさんあって充実しているなと思いました。  
・在学生の方が親切に接してくれて分かりやすかったです。お話をたくさん聞けて良かったです。



・興味のあった災害活動の内容を聞け、とても興味を持つことができました。  
・災害救護活動などが充実していて、いいなと思った  
・学生さんたちの説明がとてもよかったです。質問に対する答えが良かった。  
・先輩たちも親身で楽しかった。  
・初めてオープンキャンパスに参加したけど、在学生の先輩は楽しい人ばかりでいい学校だと思った。



・遠かったけど来てよかったです。  
・体験コーナーが充実していた。  
・説明も分かりやすくて体験なども楽しかった。  
・学校紹介のビデオが良かった。手浴が気持ちよかったです。  
・働いている看護師から話が聞けて良かった。学生の方と身近な話ができた。

# トレーニングセンター 10月8日(火) @宍粟市生涯学習センター 学遊館

平成25年10月8日(火)、支部職員や病院職員の指導協力のもとトレーニングセンターを実施しました。午前中は基礎行動訓練と救護資機材の取り扱いを学び、午後は地震発生を想定した災害救護訓練に参加しました。救護訓練では傷病者役を熱演する1年生を、赤十字救護班役の2年生が救護に当りました。班員たちは現場の混乱に戸惑いながらも声を掛け合い、迅速かつ臨機応変に救護活動を行うことができました。

学生たちは事前準備や訓練を通して災害救護活動や被災者への理解を深めるとともに、メンバー間の協力・連携の大切さを学ぶ機会にもなったと感じています。

(専任教師：藤田 美佐子)



私は、混乱状態にある災害現場で統制をとり、救護活動することは難しいと感じています。だからこそ基礎行動を身につけることで救護班が同じ動きを自然にでき、団結することが大切だと思いました。基礎行動班の班長になったときは大変そうだと思いましたが、みんなと協力することができてよかったです。

(クラスⅡ)

基礎行動訓練、災害医療訓練を通して、迅速かつ的確に行動し災害看護の知識・技術を学ぶことができました。1年生は傷病者役、2年生は救護員として事前に何度も話し合い、準備し、練習を重ねました。困ったり悩んだりすることも多くありました。クラス全員で向き合い考えることができました。当日は全員がそれぞれの役割と責任を果たすことができ、赤十字災害救護活動への理解に繋がったのではないかと思います。この貴重な経験を忘れずにこれからも日々学んでいきたいと思います。

(クラスⅡ)



## 1年生 トライアムメイク(傷病者役)

赤十字以外の学校では、なかなか経験できないような本格的な災害救護訓練をすることが嬉しくて嬉しいです。先輩が一生懸命に優しく救護して下さったことを忘れず、来年は私たちがみんなで力を合わせて頑張りたいです。

(クラスⅠ)

訓練の時、「痛い」と泣いていた私に先輩方が「大丈夫ですよ」や「痛いですね、もうすぐですよ」など声をかけて下さり、自分のために働きかけてくれていることが実感できました。普段は体験できない災害の傷病者の気持ちを経験できました。

(クラスⅠ)



## 医学会総会発表

10月18日(金)第49回日本赤十字社医学会総会で、「学校評価の推進 学校関係者評価を実施して」というテーマでポスター発表を行いました。学校関係者の選定や、頂いた意見の反映方法など質問があり、活発な意見交換が行われました。

(副校长長：柳 めぐみ)



## 第11回 関西看護学生看護研究大会 10月25日(金)

テーマ「不機嫌状態が続く患児とその家族への関わり」

関西看護学生看護研究大会で発表することになり、「人前に出るのが苦手な私に出来るだろうか…。」という不安と緊張でいっぱいでしたが、何度もご指導をして下さった先生方、アドバイスをくれた仲間達のお陰で自信を持って発表の日を迎えることが出来ました。また、自分が行った看護について再度振り返り、更に学びを深めることも出来ました。

今回の発表が自分の自信にも繋がり、本当に良い経験になりました。

(クラスⅢ)



## 歴史シリーズ

戴帽式、看護部長が大燭台を持ち、ナイチンゲール像から灯を頂きます。その大燭台から戴帽生一人一人に灯が、看護の心が受け継がれていきます。この大燭台には「第五十五回卒業記念」と刻まれています。平成13年の学校新築移転の時に棚の奥から出てきました。大先輩の心を引きついでいきたいと戴帽式に活用しています。

(副校长長：柳 めぐみ)



# 講 師 紹 介



私は医療法人恵風会で精神保健福祉士として勤務して19年になります。講義は「生活の場と精神保健」を担当しています。精神障害をもつ方々の生活支援を中心に、医療、福祉、就労、保健について姫路市内の関係機関の紹介や実際の支援について解説します。内容が医療や看護とは離れてしまう傾向にありますが、人を患者さんとして捉えるだけでなく、地域で共に暮らす「生活者」として受け止める視点も医療職には必要と考えています。学生のみなさんにはこの視点を深めて看護にいかしていただければと期待しています。

(医療法人 恵風会  
地域活動支援センター・相談支援事業所けいふう：坂野 順絵)

「治療論－1【栄養食事療法】」の講義を担当させていただいている。

人は口から食べ物をとってそれを栄養として生きており、病気の発症には食事内容や生活習慣が大きく係わっています。また、食の情報が氾濫する中で、正しい知識を持ち何が健康に良いのかを判断する能力が求められます。この講義を通して、まず自分や家族の食生活を見直し、将来臨床の場において、患者さんの生活や健康状態にあった食生活の援助や助言ができるような知識を身につけてもらいたいと思っています。

(姫路赤十字病院 栄養課：早瀬 寛子)



「医療安全」を担当しています。日常生活から安全行動を発想し、自ら考え安全を選択できるように何度もグループワークを取り入れています。そして、課題に一生懸命取り組む皆さんに感動しています。安全な行動は、患者や私たちを優しい気持ちにして相互に信頼と感謝といったわりを生みます。日頃は、気づいていない自分が大切にしている価値観を呼び起こして看護師という専門職の基軸を育てもらいたいです。

(姫路赤十字病院 看護部 看護副部長  
医療安全推進室 医療安全管理者：坂本 佳代子)

## 病棟紹介

3東病棟は、眼科・循環器内科・心臓血管外科の混合病棟で6月に開設されました。「見えないことでQOLが低下している」「心機能低下により、他の臓器に影響を及ぼすことで生命の危機を感じている」状況にある患者様の看護をしています。その中で、患者様と一緒に『見える喜び・生きる喜び』を感じています。

まだまだ発展途上の病棟ですが、新しいスタッフで日々頑張っています。実習で来られた時には一緒に看護を楽しみましょう。

(姫路赤十字病院 3階東病棟師長：芝山 富子)

## 3階東病棟





## ハロウイン



小児病棟訪問班は、10月29日に院内の保育所へ、31日に小児病棟へ訪問し、ハロウイン会を開催しました。ハロウインをテーマにオリジナル劇を行ったり、子供達と一緒にハロウインの壁掛けを作成したりしながら楽しく過ごしました。

(専任教師：中林 朝香)



## 保護者交流会の様子

平成25年8月3日(土)に保護者交流会を開催しました。全学年で24名の参加がありました。学生の学校での様子を説明した後、教師も参加して学年毎にグループになって活発な意見交換を行うことができました。今後とも保護者と学校が互いに理解を深め、学生が健やかな学校生活を送っていけるよう支援していきたいと思います。

(教務主任：山田 道代)



## 中嶋さん退職、榎本さん就任



平成20年から勤務されていた、事務職員の中嶋和美さんが10月いっぱいまで退職されました。パソコンのことで困ったら、すぐに「中嶋さん」と助けを呼ぶと、快く笑顔で応えて下さっていました。学生にとってもあこがれの存在だったはず。

これからは、榎本茜さんよろしくお願いします。

## 入学試験のご案内

### 平成26年度一般入学試験

#### ○出願期間：

平成25年12月16日(月)～  
平成26年1月9日(木) 消印有効

(持参の場合は土・日・祝日及び  
年末年始を除く9時から17時)

#### ○試験日：

平成26年1月22日(水)・23日(木)

## 季節の花々

「学校の中庭」  
学校中庭の風景です。



## 編集後記

今秋、私は研修に参加する機会を得た。組織におけるコミュニケーションの講義の中で、その留意点について学んだ。人はそれぞれ受け取り方の枠組みが違っていて、伝えたことは相手の受け取り方で変わる。何を伝えたかではなく、何が伝わったかである。相手がどのように理解したかが大切であると。学生の皆様「私の伝えたことのポイントを言ってくれる？」この問い合わせが多くなることをご了承ください。

(専任教師：名村 かよみ)